

平成20年度県内病院における看護職員実態調査

健康福祉部医療対策課

1 調査の目的

いわゆる「7対1」看護配置を導入する病院が全国的に増えていることなどから、本県でも各医療機関等において看護職員の確保が困難になっており、従来の看護職員確保対策に検討を加え、その対策を強化することが必要である。このため、県内病院の看護職員の確保等の実態を把握する。

2 調査の概要

- (1) 調査時期 平成20年10月1日
- (2) 調査対象 県内の病院（同日現在57病院）全数を対象
- (3) 回答率 100%
- (4) その他 この調査で「看護職員」とは、保健師、助産師、看護師、准看護師をいう。

3 調査の結果

(1) 看護職員数

看護職員数は、増加している。

非正規雇用職員を含めた看護職員全体数は、平成19年4月と平成20年4月を比較すると109人（1.8%）増加している。正規雇用職員に限ると29人（0.5%）の増加となっている。

職員全体	増減		
	平成19年4月1日	平成20年4月1日	増減
松江	2,251	2,257	6
雲南	359	350	9
出雲	1,517	1,596	79
大田	323	334	11
浜田	719	738	19
益田	627	624	3
隠岐	119	125	6
県計	5,915	6,023	109

正規雇用職員	増減		
	平成19年4月1日	平成20年4月1日	増減
松江	1,979	1,973	6
雲南	295	280	15
出雲	1,375	1,415	40
大田	306	316	10
浜田	662	671	9
益田	558	552	6
隠岐	103	100	3
県計	5,278	5,307	29

(2) 看護職員の採用の状況

看護職員の採用の状況について、特に採用計画が無く「採用計画数」が不明の病院もあり、注釈のとおり、採用者数
がそのまま採用計画数であったとみなして集計した。

【圏域別集計】

年間を通じて採用計画の約90%の採用

平成19年度1年間にわたる採用の状況は、県全体で見ると、採用計画657人に対して590人の採用で、率にすると89.7%である。松江、益田圏域が県平均を上回っている。

平成19年4月1日～平成20年3月31日				
	計画	応募	採用	採用/計画
松江	212	288	240	113.0%
雲南	35	23	23	65.7%
出雲	210	276	177	84.3%
大田	43	35	27	62.8%
浜田	84	59	57	67.9%
益田	63	69	65	103.2%
隠岐	10	1	1	10.0%
県計	657	751	590	89.7%

「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。

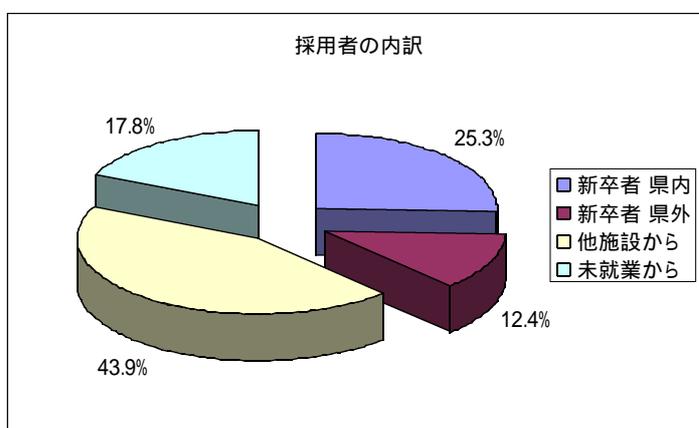
施設間移動による採用が大きなウエイト

採用者590人の内訳を見ると、新卒者が県内学校養成所出身が149人、県外が73人で合計222人である。採用者全体の37.7%が新卒者であり、43.9%が他施設からの移動による採用、17.8%が未就業者からの採用となっている。新卒者の採用が多い圏域は、出雲、浜田圏域である。

平成19年4月1日～平成20年3月31日

	採用	採用者の内訳				新卒 / 採用	他施設 / 採用	未就業 / 採用
		新卒者		他施設から	未就業から			
		県内	県外					
松江	240	47	20	98	73	28.0%	40.7%	30.5%
雲南	23	1	0	15	7	4.3%	65.2%	30.4%
出雲	177	61	27	73	14	49.7%	41.2%	7.9%
大田	27	3	3	17	4	22.2%	63.0%	14.8%
浜田	57	14	18	19	6	56.1%	33.3%	10.5%
益田	65	23	5	36	1	43.1%	55.4%	1.5%
隠岐	1	0	0	1	0	0.0%	100.0%	0.0%
県計	590	149	73	259	105	37.7%	43.9%	17.8%

「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。



採用計画数の53%は4月段階で採用

平成20年4月1月間の採用の状況は、採用計画656人に対して348人の採用で、採用計画の53%が4月の段階で採用できている。出雲、益田圏域が県平均を上回っている。

平成20年4月1日～平成20年4月30日(1ヶ月間)

	計画	応募	採用	採用 / 計画
松江	216	177	100	46.3%
雲南	33	10	10	30.3%
出雲	210	203	138	65.7%
大田	42	13	13	31.0%
浜田	89	52	47	52.8%
益田	56	37	35	62.5%
隠岐	10	5	5	50.0%
県計	656	497	348	53.0%

「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。

新卒者の採用は、概ね4月段階で決まる。

新卒者は県内、県外学校養成所をあわせ215人であり、平成19年度1年間の採用が222人であったことを考えると、新卒者は概ね4月に採用され、4月段階では採用者全体の61.8%を占める。(平成19年度1年間では採用者全体の37.7%)

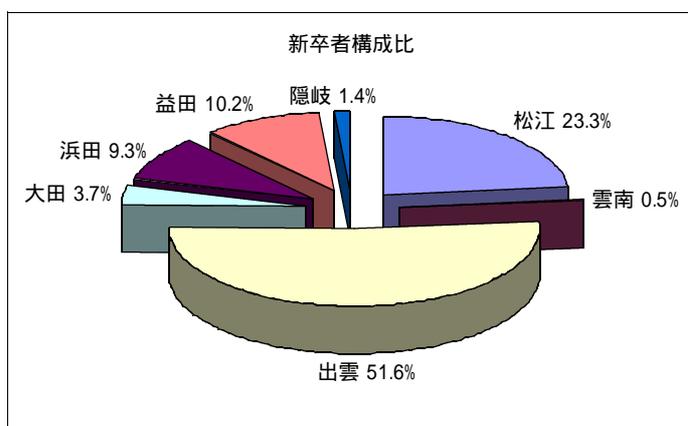
4月採用の新卒者の約半数は、出雲圏域に集中

また、4月の段階で新卒者は、約半数（51.6%）が出雲圏域へ集中し、次いで松江圏域、益田圏域の順となっている。

平成20年4月1日～平成20年4月30日（1ヶ月間）

	採用	採用者の内訳				新卒 / 採用	新卒者構成比
		新卒者		他施設から	未就業から		
		県内	県外				
松江	100	27	23	31	20	50.0%	23.3%
雲南	10	0	1	8	1	10.0%	0.5%
出雲	138	80	31	23	4	80.4%	51.6%
大田	13	7	1	4	1	61.5%	3.7%
浜田	47	15	5	25	1	42.6%	9.3%
益田	35	12	10	13	0	62.9%	10.2%
隠岐	5	2	1	2	3	60.0%	1.4%
県計	348	143	72	106	30	61.8%	100.0%

「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。



【病床規模別集計】

200床未満の規模の病院は、採用計画数の採用ができていない。

平成19年度1年間にわたる採用の状況は、400床以上の病院、200床以上の病院では、採用計画に対して採用者がそれぞれ98.2%、97.7%と、全体としてはほぼ計画どおり採用できている反面、200床未満の病院では、採用計画数の採用ができていない。

200床以上の病院では、採用計画を上回る採用をしている病院があり、見かけ上、100%に近い採用状況となっているが、実際は、採用計画数の採用ができていない病院も多くある。

平成19年4月1日～平成20年3月31日【病床規模別集計】

	計画	応募	採用	採用 / 計画
400床～	223	342	219	98.2%
200床～399床	217	241	212	97.7%
100床～199床	160	126	123	76.6%
20床～99床	57	42	36	63.2%

200床未満の規模の病院は、他施設からの移動による採用が約7割を占める。

採用者の内訳をみると、400床以上の病院では、採用者に占める新卒者の割合が50%と高く、200床以上の病院では、新卒者（44.3%）と他施設からの移動（48.1%）が拮抗している反面、200床未満の病院では、新卒者の割合が低くなるが他施設からの移動が71.4%から72.2%と高くなっている。

平成19年4月1日～平成20年3月31日【病床規模別集計】

	採用	採用者の内訳				新卒 / 採用	他施設 / 採用	未就業 / 採用
		新卒者		他施設から	未就業から			
		県内	県外					
400床～	219	79	32	43	63	50.7%	19.6%	28.8%
200床～399床	212	57	37	102	16	44.3%	48.1%	7.5%
100床～199床	123	12	3	88	19	12.2%	71.4%	15.5%
20床～99床	36	1	1	26	7	5.6%	72.2%	19.4%

4月採用の新卒者の採用は、400床以上の規模の病院に偏っている。

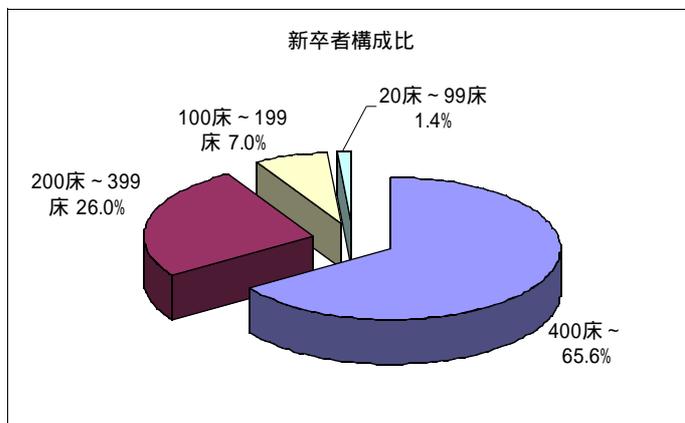
平成20年4月1月間の採用の状況は、400床以上の病院が採用計画に対して70.5%の採用者数であり、それ以下の病院を大きく上回っている。また、4月採用の新卒者215人の内訳は、新卒者の構成比をみると、400床以上の病院に偏っている（65.6%）。

平成20年4月1日～平成20年4月30日（1ヶ月間）【病床規模別集計】

	計画	応募	採用	採用 / 計画
400床～	264	318	186	70.5%
200床～399床	213	113	99	46.5%
100床～199床	132	47	47	35.6%
20床～99床	47	19	16	34.0%

平成20年4月1日～平成20年4月30日（1ヶ月間）【病床規模別集計】

	採用	採用者の内訳				新卒 / 採用	新卒者構成比
		新卒者		他施設から	未就業から		
		県内	県外				
400床～	186	95	46	28	17	75.8%	65.6%
200床～399床	99	35	21	43	1	56.6%	26.0%
100床～199床	47	10	5	25	10	31.9%	7.0%
20床～99床	16	3	0	10	2	18.8%	1.4%



(3) 看護職員の退職の状況

退職者の状況に関する調査は、調査の意図が分かりにくかったともあり、意図した数値が得られたか分からないが、急な中途退職に対して代替職員が確保できているかという観点からの数値といわゆる離職率について集計した。

【圏域別集計】

中途退職者数の4分の1程度しか代替職員を確保できていない。

平成19年度1年間の退職者444人のうち中途退職者は260人であり、この中途退職者に対して翌年3月までに代替職員が確保できた割合は、24.2%と中途退職者数の4分の1程度しか代替職員を確保できていない。

平成19年4月1日～平成20年3月31日

	退職者	うち中途退職者	代替職員確保	代替確保率
松江	168	102	25	24.5%
雲南	29	18	1	5.6%
出雲	126	74	21	28.4%
大田	10	5	1	20.0%
浜田	55	25	4	16.0%
益田	52	35	11	31.4%
隠岐	4	1	0	0.0%
県計	444	260	63	24.2%

「中途退職者」とは、定期の退職日以外に退職した者をいう。

「代替職員確保」の数値は、中途退職者にかかる代替職員を翌年3月までに確保できた数をいう。

【病床規模別集計】

特に、400床以上、99床以下の規模の病院において代替職員の確保が困難である。

平成19年4月1日～平成20年3月31日【病床規模別集計】

	退職者	うち中途退職者	代替職員確保	代替確保率
400床～	142	60	8	13.3%
200床～399床	146	86	28	32.6%
100床～199床	116	79	24	30.4%
20床～99床	40	35	3	8.6%

【圏域別集計】

県全体の離職率は8.6%、新卒者の1年以内の離職率は8.9%である。

圏域別に見ると、雲南圏域が高いほか、松江、出雲、益田の各圏域が県平均を上回る。

〔参考〕全国数値 全産業離職率 17.5%（平成17年雇用動向調査：厚生労働省）

看護職員 12.4%（平成19年病院看護実態調査：日本看護協会）

新卒看護職員 9.2%（平成19年病院看護実態調査：日本看護協会）

島根県数値 看護職員 8.6%（平成19年病院看護実態調査：日本看護協会） 回答施設20施設

新卒看護職員 4.0%（平成19年病院看護実態調査：日本看護協会） 回答施設20施設

全体の離職率

	離職率
松江	8.7%
雲南	10.2%
出雲	9.3%
大田	3.2%
浜田	8.5%
益田	9.6%
隠岐	3.9%
県計	8.6%

新卒者の離職率

	離職率
松江	10.2%
雲南	100.0%
出雲	7.1%
大田	20.0%
浜田	3.6%
益田	12.0%
隠岐	
県計	8.9%

【病床規模別集計】

離職率は、病院の規模が大きくなるほど低くなる傾向、特に新卒者において顕著

【病床規模別集計】

全体の離職率

	離職率
400床～	7.0%
200床～399床	8.2%
100床～199床	11.5%
20床～99床	10.9%

新卒者の離職率

	離職率
400床～	7.3%
200床～399床	8.8%
100床～199床	18.2%
20床～99床	100.0%

(4) 看護職員の休職等の状況

休職等の状況に関する調査は、調査の意図が分かりにくかったともあり、意図した数値が得られたか分からないが、急な休職等に対して代替職員が確保できているかという観点から数値を集計した。

【圏域別集計】

休職者等に係る数の5分の1程度しか代替職員を確保できていない。

平成19年度1年間に休職などをした職員数は、370人であり、この休職者等に対して翌年3月末までに代わりの職員が確保できた割合は、20.8%と休職などをしている職員の数の5分の1しか代替職員を確保できていない。

平成19年4月1日～平成20年3月31日

	休職者等	代替職員確保	代替確保率
松江	136	37	27.2%
雲南	29	2	6.9%
出雲	124	25	20.2%
大田	20	0	0.0%
浜田	30	12	40.0%
益田	25	1	4.0%
隠岐	6	0	0.0%
県計	370	77	20.8%

「休職者等」とは、出産や育児に係る休暇、その他休職、長期研修などにより勤務していない者をいう。

「代替職員確保」の数値は、休職者等にかかる代替職員を翌年3月までに確保できた数をいう。

【病床規模別集計】

特に、200床未満の規模の病院において代替職員の確保が困難である。

平成19年4月1日～平成20年3月31日【規模別集計】

	休職者等	代替職員確保	代替確保率
400床～	161	33	20.5%
200床～399床	115	31	27.0%
100床～199床	75	10	13.3%
20床～99床	19	3	15.8%

(5) 看護職員の必要数

【調査の方法】

病院の部門（入院、外来、管理）ごとに、現行の看護配置基準等の体制を基本（体制の変更を含む）とした上で、平成21年4月1日見込で病院が必要とする人数と現員数を比較した。

例えば、職員数の不足によりやむを得ず体制を休止・縮小しているような場合には本来の体制を実施するための必要な人数、看護配置基準を上位の基準に移行する計画（勤務環境の改善等を含む）がある場合には当該体制を実施するための必要な人数を調査した。あわせて、その理由も調査した。

県全体で、平成21年4月1日に向けて、さらに340人から380人の看護職員が必要であると各病院は考えている。

〔主な増員の理由〕

- ・看護配置基準を上位の基準に移行（10対1から7対1へなど）
- ・やむを得ず休止・縮小した体制を本体の体制に復帰
- ・夜勤回数の減、有給休暇取得などの勤務環境の整備
- ・急な休職、退職に備え余裕人員を配置

規模別に見ると、特に200床から399床以下の規模の病院において、県全体でさらに必要とする看護職員数の約半数弱の人数（170人から180人）が必要であると各病院は考えている。

【圏域別集計】

	最大必要値	病院内調整値
松江	94.7	82.5
雲南	28.7	28.7
出雲	122.9	109.9
大田	22.0	18.2
浜田	50.0	47.5
益田	58.4	50.4
隠岐	6.6	5.2
県計	383.3	342.4

各病院における平成21年4月の体制を考慮した調査時点での現員との差引必要数

「最大必要数」は、部署ごとの現員との差引必要数のみを合計したもの。

「病院内調整値」は、部署ごとの過不足を調整したもの。

【病床規模別集計】

【規模別集計】

	最大必要値	病院内調整値
400床～	99.5	78.0
200床～399床	182.5	168.2
100床～199床	75.7	71.3
20床～99床	25.6	24.9